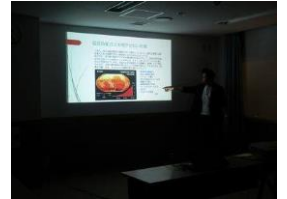
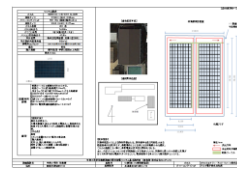


4月

- 「H27西宮市太陽光発電設備設置に係る公共施設屋根貸し事業」にて採択事業者の企画設計・管理等のアドバイザー業務を行いました。甲東小学校・名塩小学校・上ヶ原南小学校の3校での採択を受けました。企画では、近隣住民に設備を利用してもらう仕組みや、環境学習についての地域性を企画に加えている設計になります。4月より順次連系が完了して発電がスタートしています。
- 西宮市立山口公民館で、再生可能エネルギーに関する講座「みんなで育てる再生可能エネルギーとまちづくり」を開催しました。熊本地震の直後という事もあり、講座内では、再生可能エネルギーを利用した防災グッズや、非常テントでの活用などのグッズを使い、実際に避難所生活を送った場合をディスカッションしました。



5月

- 運営している西宮体験農業クラブにて、新玉ねぎの収穫祭を行いました。今回は収穫した玉ねぎをその場で素焼きにして参加者の皆さんで試食。たくさんの子供たちは勿論保護者の方も「甘い」の声が出ていました。有機栽培で行う農業は難しいですが、里山環境に触れ自然を感じながら食育を行える環境づくりにもっとたくさんの人に来ていただけるように尽力します。
- 西宮市立今津公民館、越木岩公民館で、再生可能エネルギーに関する講座「みんなで育てる再生可能エネルギーとまちづくり」を開催しました。今回の講座では、参加者の皆さんに再生可能エネルギーを利用した防災グッズや、非常テントでの活用などのグッズを使い、防災マップを見ながら避難から避難生活までをシュミレーション。東北地震の防災士避難所記録とシュミレーションの結果を照らし合わせて現在の認識を比べてみました。
- 西宮市で年2回行われる「わがまちクリーン大作戦」に参加しました。今年の担当は、地域公園付近の清掃でした。



6月

- 毎年恒例になっている、事務所南窓グリーンカーテンを今年は朝顔で種まきを行いました。今年は7月に暑い日が続いたせいか少し成長が鈍化しています。夏に向けてぐんぐん大きく育てて欲しいです。来年は農地でもグリーンカーテンコンテストを開いて夏の収穫祭には日陰を創りたいと考えています。
- 西宮体験農業クラブで新じゃがいもの収穫祭を行いました。毎回新しいご家族とお会いするたびに、都市部近郊で体験農業とかができる場所がないと皆さん収穫日を楽しみにしていたとお声をかけてくれます。いざ、収穫が始まると、子供も大人もわいわい必死に土を掘っています。最近公園でも土いじりをする子が少ないと保護者様の声を頂くと、この農地の必要性も出てきたのかと勇気をもらえます。今回の参加者の皆さんには朝顔の種をお配りし、グリーンカーテンにチャレンジしてもらっています。エアコンなどの稼働を少しでも抑制し、温室効果ガスの削減に繋がればと思います。



- 経済産業省資源エネルギー庁主催「資源のない日本将来のエネルギーの姿に関するシンポジウムin神戸」に参加

7月

- 西宮体験農業倶楽部でにんじんの収穫祭を行いました。約250本のにんじんを収穫。その場でにんじんジュースにして皆で試飲をしてもらいました。また、熊本の復興応援という事で、福岡産の小麦やうるちを使ったにんじんパンケーキを作りました。災害地では、まだまだ苦労している人たちがたくさんいますので、少しでも自分たちのできる範囲でできることを呼びかけさせていただきました。



8月

- 阪急西宮ガーデンズ内スタジモ西宮にて太陽光パネルを利用したペットボトルでつくるソーラーライトの体験工作を実施しました。再生可能エネルギーとはそもそもどんなものかを説明したうえで、実際に太陽光パネルを利用した体験工作を通じて、環境や再生可能エネルギーの事を少しでも多くの人に環境学習として伝えていけるようにしています。



9月

- 西宮体験農業倶楽部にて体験農業だいこんの種まきを実施しました。普段体験できない農作業を都市部の人にも体験してもらう企画で、農作物を育てるとい事、またそれらを食すという事を体験を通じて食育の場を提供します。



- スマートエネルギーWeek2016大阪にて関西バイオマス発電展・PVEXPO等の基調講演を傍聴します。会場で得た最新の動向や市場を確認し市民の方へ啓発事業にて情報を発信していきます。



10月

- 本年度兵庫県より事業採択されたH28農山漁村活性化応援事業の「食と農と環境の輪」を鷺林寺地区農家と都市部一般市民と共に繋ぐ連携活動」を鷺林寺農地で実施しました。鷺林寺近郊の里山MAPの作成や鷺林寺ファーマーズのHP開設、さつまいもの栽培&収穫祭を通じて、都市部と農村地域の中間支援を実施しています。鷺林寺近郊の施設の紹介や地域農産物の直売会など、地域を丸ごと楽しむ事が出来る事を多くの方に知って頂くための活動です。地域に新しいコミュニティーの場所を創造し、活性化を図る事で農業従事者様のやる気と魅力をお伝えできればと行動しています。



- ひょうごボランティアプラザにて、太陽光パネルを利用したソーラーライトランタンの体験工作「親子で作ろうソーラーライトランタン」を実施しました。ハロウィン前の体験工作イベントだったので、ランタンもハロウィン仕様となりました。体験工作を通じて、環境や再生可能エネルギーの事を少しでも多くの人に環境学習として伝えていけるようにしています。





12月

- 西宮体験農業クラブにて体験農業だいこん収穫祭を実施しました。収穫体験には関西のこども食堂を利用することも達にも体験に参加してもらい収穫した大根は、「にしのみやこども食堂」「なるっこ食堂」様に寄贈しました。ただ、物資を提供するのではなく、コミュニティ体験と体験の場を提供できればと考えています。収穫した大根は、大根の大きさを競う重量コンテストを開いて、収穫する事そのものの楽しさを感じてもらったり、ふろふき大根やスティックサラダにして食べました。野菜がどう栽培されているかや無農薬での野菜本来のうま味を堪能してもらいました。



2月

- 平成28年度西宮市市民交流センター主催 団体連携事業にて開催採択されました「防災・減災と再生可能エネルギーの活用」講座を開催しました。阪神・淡路大震災から22年、あの大災害から関西では着実に復興を歩む一方で、東日本大震災、熊本地震、鳥取地震などの報道で見るたびに「やっぱり災害って怖い」と思う方もいるのではないのでしょうか？災害発生時に必要な判断と被災避難に関する基礎情報を共有し、生活する上での危機管理意識を再認識すると共に、災害時に地域で活用できる再生可能エネルギー情報や災害グッズを紹介しました。



- 西宮体験農業クラブで新たな農作体験として「栽培から収穫・食育」をテーマに新たな取り組みがスタートしました。今回栽培したのは、じゃがいも3種です（キタアカリ・馬鈴薯・メークイン）。また、今回栽培する農地畑は、未耕作地となっていた農地を新たに農家さんから賃借して、耕作畑へと再起させる同時促進プロジェクトになります。完全無農薬による安心・安全の野菜を参加者全員で収穫まで取り組んで行っています。



3月

- 昨年兵庫県の「H28地域主導型再生可能エネルギー導入促進事業」に採択されていた発電所の建設がスタートしました。この事業は再生可能エネルギーを活用し、地域の住民・団体・市町村と連携して地域を活性化させる事を目的としています。当団体は、西宮市で初めてNPO団体として日本政策金融公庫様より再生可能エネルギーを利用した発電所建設における融資採択を受け、兵庫県の導入促進事業と連動して、売電を利用した地域活性化へとつながる公益事業を行います。

